

平成18年5月30日

東洋エンジニアリング株式会社

インド向け大型エチレン設備を日印のエンジ企業連合にて受注

東洋エンジニアリング株式会社(TEC、取締役社長 山田 豊)は、インドのエンジニアリング業界大手のL & T社と共同で、インド国営石油会社(IOCL)が、同国北西部ハリアナ州・パニパットに新設する、年産80万トンのエチレン製造設備をこの度受注いたしました。本プロジェクトは、隣接する同社パニパット製油所からのナフサを原料に、インド最大かつ北インド初の大型エチレン製造設備を建設するもので、主に国内での需要に対応するものです。米国ABBルーマスの技術をベースに、TECとL & Tは設計から工事/試運転までのEPC業務を一括請負で実施し、プラントの完成は2009年第3四半期を予定しています。TECは本プロジェクトに参画する現地法人Toyo Indiaと協力し、今後投資が期待されるインドの石油化学分野でも、積極的にビジネス展開を図ります。

<受注概要>

客 先： インド国営石油会社 (IOCL: Indian Oil Corporation Limited) <本社：ムンバイ>
～インド最大の売上高(約1兆5千億ルピー：2004年度)の企業～

受注者： TECとL&T(Larsen and Toubro Limited：ラルセン社) <本社：ムンバイ>

対象設備： 年産80万トンエチレン製造設備(原料はナフサ・ベース)

建設地： インド、ハリアナ州パニパット(デリーから北西へ約125Km)

～同社のパニパット製油所(原油処理能力・年間600万トン)の隣接地～

適用技術： 米国ABBルーマス社(ABB Lummus Global Inc.)技術

役務内容： 設計、機器資材の調達および工事、試運転助成までの一括請負

プラント完成予想： 2009年第3四半期

受注の意義：

- * 本設備はインド最大かつ北インド初のエチレン製造設備であると共に、IOCLが建設する初のエチレンプラント。新設される本石油化学コンビナートでは、このエチレンを原料に高密度ポリエチレン、ポリプロピレン、モノエチレングリコール等の基礎化学品が生産される。
- * TECとL & Tが共同で受注した初の大型プラントで、プロジェクト実施にはTECグループ(Global Toyoと呼称)の中核企業である現地エンジ会社のToyo Indiaが参画。
- * 本件はTECの38件目の新設エチレンプラント実績で、36件目のインドでのプラント実績。
- * 現在TECとToyo Indiaは、インドで2件の大型エネルギー関連(LNG/NGL)プロジェクトを実施している。

以上